

河川砂防技術研究開発公募 地域課題分野（砂防）
令和4年度採択テーマ
事後評価結果

研究テーマ名	研究代表者	総合 評価
気候変動に伴う地域性を考慮した土砂災害の将来変化の評価手法の開発 (研究期間：R4 年度～R6 年度)	京都大学防災研究所 特定准教授 呉映昕	A
<研究概要> 六甲山地における気候変動に伴う降雨特性の将来変化を定量的に解明するとともに、土砂災害危険度基準線（CL）、スネークラインのパターン解析、降雨の強度と継続時間の関係に基づき、土砂災害発生状況の将来予測を行う。加えて力学的な数値モデルも適用しながら、気候変動に伴って将来の降雨はどのように変化するか、その結果に伴う地域性を考慮した土砂災害の発生状況はどうなるのかを定量的に評価する手法を開発する。		
<事後評価コメント> 本研究では、気候変動に伴う降雨特性の将来予測の分析によって土砂災害の警戒避難の重要な情報である CL 超過事象の増加傾向を定量的に示したこと、降雨成因別分析によるメッシュサイズの特性を踏まえた分析の必要性を示唆したことは、気候変動を踏まえた砂防行政の検討への反映の観点から大いに評価出来る。 今後は、地域性の違いを考慮した検証事例を増やし、地域特性を踏まえた定量的な評価に向けた検討や六甲山系以外の地域への適用等、砂防行政への具体的な活用に向け更なる検討を進めていただきたい。		

※評価基準

- A：研究目的は達成され、十分な研究成果があった
- B：研究目的は概ね達成され、研究成果があった
- C：一定の研究成果があった
- D：研究成果があったとは言い難い